

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者		連絡先 2613
部 名	保健福祉部	課 名	地域医療課	課長名	近藤敏男
事務事業名	相模原看護専門学校運営費補助金				
予算上の事務事業名	相模原看護専門学校運営費補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12310		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				事業開始年度
施 策 名	第1施策 地域医療体制の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
看護師等養成施設運営費補助金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
看護師の養成・確保を図るため、相模原看護専門学校を運営する事業に対し助成する。			相模原看護専門学校 (相模原市医師会立)		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
施設の概要 ・名称 相模原看護専門学校 ・所在地 相模原市新磯野4-1-1 ・種 別 平成17年4月入学の1年生から全日制へ移行 *2年生、3年生は定時制 ・修業年数 1年生 3年修業の全日制 2年生・3年生 3年修業の定時制 ・定 員 1年生40人 2年生40人 3年生40人 ・補助交付先 相模原市医師会					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他の自治体においても同様な補助制度があり、看護職員確保対策を実施している。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	38,474	35,365	117,076	125,643	100,000
一般財源	38,474	35,365	117,076	125,643	100,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	6,000	6,000	3,220	3,220	4,025
事業コスト合計	44,474	41,365	120,296	128,863	104,025
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	相模原看護専門学校運営費補助金			対象名称 と単位	生徒数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	44,474	41,365	120,296	128,863	104,025
対象数	117	112	111	112	120
単位あたり経費(円)	380,120	369,330	1,083,748	1,150,563	866,875
前年度比		0.97	2.93	1.06	0.75

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	国家試験合格率（％）	指標式と指標の説明	国家試験合格者数／卒業生数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	36.0	33.0	31.0		
目標	38.0	35.0	33.0	36.0	40.0
目標達成度（％）	94.7	94.3	93.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	市内就職率（％）	指標式と指標の説明	市内就職者数／国家試験合格者数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	19.0	10.0	21.0		
目標	36.0	33.0	31.0	36.0	40.0
目標達成度（％）	52.8	30.3	67.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		看護師の育成及び確保の更なる充実を図るために学校運営の見直しが必要となり、市、市医師会、市病院協会及び看護協会などの複数団体で学校運営を実施するための財団法人化について、検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 市内就職率向上には、他の施策（修学資金貸付事業）等とあわせて取り組んでいく。また、医師会や病院協会との協議を進める。			14 課題として認識されたこと 目前に控えた高齢社会は医療への需用が高まり、看護師等の医療スタッフの確保は重要な課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			